

理科 生物 シラバス

教科	科目	開設学年	単位数	教材名
理科	生物	3 学年	4	高等学校 生物 (第一学習社) スタディーノート 生物 (第一学習社)

1. 学習の到達目標等

学習の 到達目標	生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。
-------------	--

2. 学習計画

月	単元	学習内容
4 月	第 1 章 細胞と分子	細胞小器官、細胞膜、タンパク質、アミノ酸、酵素
5 月	第 2 章 代謝	光合成、細菌類の炭酸同化、窒素同化、発酵、呼吸
6 月	第 3 章 遺伝情報の発現	DNA、DNA の複製、遺伝子の発現、遺伝子の発現調節、バイオテクノロジー
7 月	第 4 章 有性生殖	無性生殖、有性生殖、染色体と遺伝子、生殖細胞、連鎖と組換え
9 月	第 5 章 動物の発生	配偶子形成、受精、卵割、発生、胚葉の分化、器官の形成、プログラム細胞死、アポトーシス
10 月	第 6 章 植物の発生	配偶子形成、胚発生、器官の分化
	第 7 章 植物の環境応答	植物の成長とホルモン、屈性、光発芽種子、光周性
11 月	第 8 章 動物の反応と行動	耳、目、神経、脳、筋肉、生得的な行動、学習
12 月	第 9 章 個体群と生物群集	個体群、密度効果、個体群の相互作用、生物群集
1 月	第 10 章 生態系	生態系の物質生産、生物多様性、攪乱、保全
2 月	第 11 章 生物の進化	進化のしくみ、遺伝子頻度、生命の誕生、生物界の変遷
3 月	第 12 章 生物の系統	分類と系統、ドメイン、五界説

3. 評価の方法

校内内規に基づき、定期考査、授業態度や発問評価、実験レポートや課題などの提出物により評価する。

4. 担当者からのメッセージ

- ・生物基礎からより深い内容の学習になります。日々の家庭学習で予習と復習をしっかりとこない、用語の定着を十分におこなってください。
- ・身近な生物や生命の現象に興味をもち、積極的に授業に参加をしてください。
- ・ノートやレポートなどの提出物は、期限を守り必ず提出してください。